

「巡回アカデミー」(福岡県研修)の実施について

市町村アカデミーでは、様々な事情によって千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域に赴き、高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年度内に2回実施しています。



福岡自治研修センター外観

令和5年度は、第1回目を7月に鳥取県倉吉市で開催し、第2回目は10月11日(水)から13日(金)までの3日間の日程で、福岡県大野城市にある福岡自治研修センターにおいて、福岡県市町村職員研修所との共催で、「エビデンスに基づく政策立案のためのデータ活用」の研修を行いました。

11日(水)は開講式の後、総務省統計局統計情報システム管理官から2名の講師を招き、管理官補佐の並木剛氏から「EBPMに資する統計データ活用」、統計基盤デジタル化調整担当主査の大瀬寛彰氏から「e-Stat、jSTAT MAPの使い方」と題して、ご講義をいただきました。研修生からは、「EBPMの概要を掴むことができた」、「e-Statの様々な使い方を学び非常に有益だった」などの感想が寄せられました。



並木 剛氏



大瀬 寛彰氏

次に、「公務員のかんたんデータ活用術」と題して、神奈川県秦野市監査事務局局長の志村高史氏から、地方公務員がよく使うデータやグラフ活用について、ご講義をいただきました。研修生からは、「データを使って業務を整理するための色々なヒントをもらった」などの感想が寄せられました。



志村 高史氏

12日(木)は、事例紹介として、佐賀市政策推進部DX推進課副課長兼スマートシティ係長の菅祐亮氏から「佐賀市介護予防DX」の取組について、ご講義をいただきました。研修生からは、「データ分析によるターゲットの絞り込みや施策効果の検証について参考になった」などの感想が寄せられました。



菅 祐亮氏

次に、「統計学に基づくデータ分析のポイント」と題して、和から株式会社経営企画室長兼データサイエンティストの岡崎凌氏から、エクセルでの演習問題を交えながら統計学に基づいたデータ分析方法について、ご講義をいただきました。研修生からは、「数値を比較するだけでなくバラつきや関連性の分析が学べた」などの感想が寄せられました。



岡崎 凌氏

13日(金)は、「オープンデータ活用を意識した行政評価・EBPM」と題して、東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏から、オープンデータの意義

や定義、行政評価としてのEBPMにつながるオープンデータの推進について、ご講義をいただきました。研修生からは、「データ収集前の客観的視点や前提づくりを知ることができた」などの感想が寄せられました。引き続き、「課題演習(討議・発表・講評)」と題して、研修生が準備した政策分野の現状や指標を基に、班ごとに政策評価を考えて、討議・発表し、河村和徳氏からご講評をいただきました。研修生からは、「各自治体の様々なテーマを聞いて参考になった」、「講師の評価が分かりやすく新たな視点があって良かった」などの感想が寄せられました。



河村 和徳氏